

No 197 BASTOS. 10 de JANEIRO de 1954 O PROGRESSISTA REG. 4.576 S. PAULO A.P.

バストス週報

第九十七号
昭和廿九年
一月十日
発行

REGISTADOR
KOITI MORI
発行所
RUA PRES.
VARGAS 188
BASTOS
REDATOR
SHION ODA
C. P 112
本代
一冊 60.-
外郵 70.-

バストス週報

むかし噺 (2)

山中 私 齊藤太郎 上田敏雄の三氏

問 名づけ親は誰ですか
バストス移住地週報と喝へていまし

答 昭和五年五月バストス月報が青年団
の機関紙として生れた。これがその前

身名のだが此の月報が新入植者の手引
を以てした。その頃青年団が二回目の改組

を以てして小生は修養部長といふのにな
ったが、この中に図書年論講習などの班

があり、又機関紙の月報班もあつたわけ
だ。創刊号を作つたが、表紙は横道一男

が書き、鐵筆は後藤千代女、印刷は園
田やエンリツキがやつた。わしは編輯

人で、命名者は畑中さんだつた。月報
は五号迄出した。昭和六年正月から週

刊に改め、編輯は齊藤太郎氏がやつた
。移住地週報創刊号を出したのには昭和

八年の入植記念日だつたと記憶してい
ます。当時南里さんは青年団の相談役

で、道報とは特別関係が深く、筆勢所から
一般への通知などもあつたので、系稿を書

き上げて南里氏に一度見てもらうとい
ふ風でした。

○ 創刊号に一寸喰ひちがひがあるよう
だが、山中さんの方はスラ格筆勢所の仕

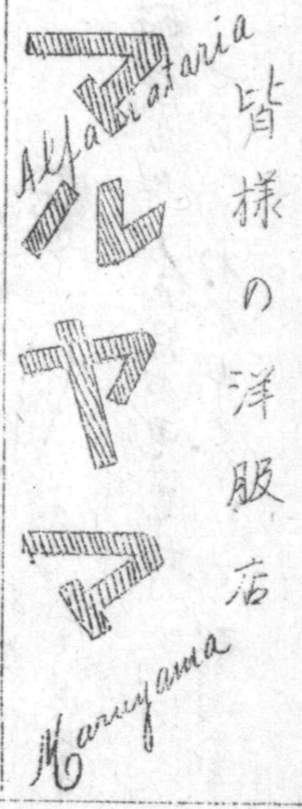
事柄で前記をなす、齊藤さんの云ふよう
に青年団へ引きついでたものだらうか

○ 後藤君がアンナへ野球の遠征に出か
け、当時アンナが主班でやつていたアリ

アンナ時教を持ち帰つて、バストスにも
こういふものが欲しいと寄り、話し

合つていたことも起因の一つではし
よう。週報は青年団の仕事でした。

○ そうすると山中さんのいふ月報又は週
刊もやることはやつたのだが、創世記時
代。こをければ高天原かオゴロジマだ。
やはり初代のヘケネニを握つたのは
齊藤太郎さんだ。
たいたいどんな筆とあ書きになりました
た。執筆者の記憶から申す、毎号の
ように奇書されたのは、後藤先生、南



聖市四百周年祭

遊覧見学案内 優待券

の御世話話を致します。御立寄り下さい
御取扱ひ申上はます

躍進の日、南米時事

御愛読の方々及新規購読御申込者に対
する御優待方法
詳細は左記へ

南米時事代理人 山中 三治

バストス市 シネマ館の向側

○ 里氏、井上農学士、杉本高信氏、それ
にスホーリツ記事を小生といつたとこ
でした。当時とて充実していたつも
りです。

○ 頁数が紙数はどの位でしたか
紙の厚さは何枚か三枚でした。段々
ふえて両面三枚(大頁)位になつて参りま
した。

○ なんで両面刷は私の創業かと思つて
いたら平安朝にもう実施されていたん
ですわね。 (時代)

○ 何年位おやりになりましたか
小生は一ニ六号までだつたと記憶し
ます。二年半弱です。学校の方が彭張

して来まして、どうにもならなく、上
田敏支君にバトンを渡しました。日本
へ帰る為ではなかつたので、やめる

時長い間、吾等だつたと本箱を一つ記
念にもらいました。

○ こんどは上田さんの番ですな
僕のお引受したのには確か昭和廿年と
思ひます。

○ すると、やはり創刊は昭和六年で、理窟が
あふことになり、七集八年九年

近も二冊で九年が半載、上田さん
の記憶と、たよりする。

○ 僕は齊藤先生が日本へ帰られるんで、お
はちが廻つて来たもんやとはかり思ふ

とりました。当時の聯合青年団副長八重煙者吾君が上手におだてるものです。からのいお引受けしてしまわれました。その時の約束では、すぐに専任の後任者を物色するから、それ迄原稿其の他は当方が責任を以て、お宅にお届けする。といふ事でした。はじめの内こそ履行されまされたが、二月三月と経過しても依然として其のまま、だし、原稿も滞り勝ちでして、不逞の分は、今から考へれば、恥しくて顔から火の出る様な拙文迷文で、いやなことに補填していったように記憶して居ります。

○ 井上新一農学士が一面を引受け、棉花如珠、其他重要農産物の増産に關する論文と定期的着衣して頂き、その間に畑中支配人、脇山組合長の訓示といふようなものも、対折載せました。二面は移住地事務所と産組事業所が、時一千二百家族と称せられ、邦人集団地として近隣に鳴り響いて居た豪勢な折柄として、色々を通知事項や報告記事が扱ひ切れぬ程多量にありました。三面は十六支部といふ青年団の動靜、行事を克明に紹介報告を致しました。現今の様は俳句や短歌のような氣の利いた原稿は皆無でありまして、僕の記憶に限りがなければ、新津牛丸氏の歌を数回載せたに過ぎない様に覚えて居ります。

○ ぞーてあなたは何年位鉄筆耕起をおやりでしたか
 今申上げたように、内容外観共に食物極るものでして、誠に今から考へれば幼稚なものではありましたが、それでも、どうにかこうにか約八ヶ月程バスター週報としての使命を集めて参りました。其後原稿は殆んど送つて来ず、後任者を物色するといふ公約が全く果されない為のに断然、紙の残りを鉄筆もろとも聯青本部に叩きつけてタンカを切つたように、おぼろげな記憶があの心です。

○ フリン面白いね。まあとはどうなつたんでしような。
 Y 上田君は年も若かつたし、熱心でもあったが、材料が統かんでしまひ、同切れ、たが、た、どう、やりきれなくなつて、青藤先生に返してしまつた。昭和十年頃後藤校長の日本精神がどういふわけか失脚し、その派と見られた者、赤生もおとなしくして居なけりや。頃だと週報を上田製糸工場へ移した。故福藤君(すえ子未七人の夫君)あなたリがやつていたと思ふ。
 U 僕の記憶では森重君が郵便局勤務の傍やつて居たと思ふが印刷だけやつて

直ぐに各支部宛投函して居りました。発行部数はどの位?
 ○ 七百五十乃至八百位だったと思ふ。私が産組に居た頃、昭和十三年に中村誠団長当時週報付録として組合欄を一頁作つたことがあつたが、一千部と書いて居たがねえ。
 Y 一番余計出た時でも九百部止りだった。産組は多少吹っかけられた。
 S 購読料は、どんな風だった。
 ○ 最初一年は無料でした。次年から年々十二針とることになりました。
 U 僕の時代は十五針になりました。その後料金は釘のけのようでした。値上りに比して高くはない。戦前十五針やそこいりやれたのは、産組組合が毎月一万枚の用紙をアラ格にキフレて居た。アラ格といつては、おかしな中村団長、根本団長といつてもアラ格の人だつた。産組の簿部事務との話し合ひで青年運動の一翼を為すといふ。た、運も大分動き初められたから、一万枚といつても、その頃は一七〇針見当だから年にニコントもあればやれたんだ。
 U 広告料などの収入もあつたかね。
 ○ 縣青の方からは勧誘はせなかつたが、料金を添えて持参の分だけと扱つて居りました。(つづく)

謹賀新年

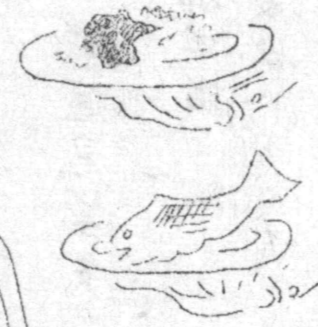
一九五四年一月元日

わかせと

伯國總代理店

パウリスタ製菓會社

社長 中久保益太郎



食事前二十分 わかせと の 食料は 食慾を促します

酷使したお正月の胃腸は、せひ、わかせとで整調の手

バスターズ代理店
 佐々木 薬 局
 西川 薬 局
 板垣 薬 局

各区対抗

のど自慢盛況裡に

終了

一ニの例外はあるが今度ののど自慢は大体ペテラーノが遠慮し新進気鋭のモツヤモソソで気分を一変したところだ。のど自慢らしい風景が漂っていた。とうせ音楽会でもない音楽でもない。真正真銘ののど自慢だけに、ケレンもハツクリもなく、十五大の娘さんたち、柄だけは大きい心臓は縮みより、足はステージについて居るのやら、宙に浮いて居るのやらからだと拍子をとって二、即唄ふのが、ヤフとこせ、純真そのものであった。

審査も中々よくできて一点非の打ち処もない。立派で公平で、審査員に百点上げたい位だ。余り上手に審査すると、よそから頼みに来られるものと心配する向きもある位だ。中央の中村嬢とGIIの草野君、ハラハとする位の接戦、嬢が遂に優勝したのはフェミニストが多いからではない。君が二位でも、此の同級一重の差でしかない。二人ともよくやった。

区成績順位は左の如く、点数が多いのは中選、決勝、両日の合算だからである。

第一位	CE	中村ちえ子	一五九七・五
第二位	GII	草野順一	一五六七・五
第三位	S	戸来善次	一四七五・七
第四位	CE	八重控あや子	一四五一・一
第五位	VII	三宅 颯	一四四四・四
第六位	CE	戸田 幸	一四三七・五
第七位	C	高橋澄子	一四三三・〇
第八位	S	伊藤 博	一四一三・五
第九位	P	三次しげ子	一四〇三・〇
第十位	CH	本田重弘	一四〇一・一

区対抗

以上個人賞順

第一位	中央	四四九・〇
第二位	久留米	四二三・〇
第三位	サウネ	四一三・四
以上入賞		四一三・五
4	フロレスソ	四〇七・六
5	久留米I	四〇五・五
6	ウニオン	四〇五・五
7	アルト	四〇二・二
8	シヤカラ	三九九・三
9	エスベ	三九〇・三

10	カスカッタ	三七七・一
11	ウニオン	三七四・七

聴衆オ一日、六五〇。オ二日、雨にも不拘八〇〇。押すまくで息がつまり相であった。オ二日の雅の部、童謡の部、何れも参加記念品を貰って大々び、特別生優の生劇、「一心太助」は、観衆のへつをねじり、これまた大去来、よそから来た人、よろこぶまいことか、サスガわバブスヤなアと嘆息していた。さて、よくくは入場し大成功だったがカンジンのオサツの方はどうかと気をもんで見たが、今勤定中やがだい方もうけはったけな。縣日会中々隅にわけまへんで……。

會計授受は円滑に

前号(一九三三)新春暖語の中に自治会時代の赤字を縣日会で引つぐ云々の言葉があったが上西副会長の談によると、あの赤字は五二年以降五三年度上半期の各邑々持分が入金することによって当然補填されるものである故自治会時代の会計より未収入金の明細を表示すれば、当然回収のきき取るものとの説明があった。

カーザクリスタイル

阪東商店で 年末お買物

をなさいました お各様へ!

福引は左の番号の方へあたりました。

いつでも引替申上げます

581	430	28	377	189	168
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12

鶏舎や蚕室の

建築材料 柱 梁 その他

の材料など 御希望により、取り揃えます

一度、中まかけ下さい

エスペランサ小学校附近

アラリヤ内

川上

励

ハウリスタ・ソロカバナ 新年親睦囲碁大会

参加棋士三十三名 二日ガカリの
大熱戦

去る一月三日コナア倉庫階上大サロに於て開
かれた囲碁大会には、ア・フルシテより四名、ラン
シヤリアより五名、トッパン・オ・クルス各二名、マ
リリア、パラガスより各一名、地元十八名の大試
合となり三日だけで決勝戦へもちこみ、四日
延長戦に入つてやっと順位がきまるといふ猛烈
振り、高級者では中島二級、中位では藤田
十一級がそれ、勝者乗りとあひた。

成績表 左の如し

戦勝決級A	
中山五級	中川
中川四級	羽藤
岡本三級	羽藤
羽藤四級	中島
中島二級	中島
東六級	中島
梶山七級	阿部
阿部四級	阿部
優勝 中島	二位 羽藤
五位 梶山	六位 中山
	七位 東
	八位 岡本

藤田十一級	藤田
小橋八級	藤田
浪野十級	浪野
水口十級	浪野
招本八級	招本
加藤十級	招本
大河原十級	招本
片寄十三級	大河原
優勝 藤田	二位 招本
五位 片寄	六位 水口
	七位 小橋
	八位 加藤

○残念組と云うのは予戦で敗れて晴れの決勝戦
に出場出来なかつた人で、これらが又一戦に及ば
一等 青山二級 二等 宇佐見八級 三等 西村十級
四等 中京六級 五等 仲宗六級 六等 板垣四級
試合終了四日午後二時賞品授与、散会
(紙面の都合により大会観戦記は次号に)

ホトトギス八選句 (九月)
ハストフ 阪東春歩
鳴き渡るオムト野路の秋深し
ハストス 山本和枝
著々ぶくれて滅法強き事を云ふ

あつはれ 春枝さん でかした！

堂雪の苦、漸く笑と結ぶ
晴れて師範出の正教員

エスコラ、ルマルムニシビオ、元ランシヤリアでは
今年一月二日、新しく教育界に打って出る十四名
の卒業生を送り出す卒業式が行はれた。男
女各七名宛の卒業生中、男一名、女二名計三
人が日系伯人であることは注目される。その
三人の日系の中の一人が故招本高信氏の愛
娘ハルエさんである。大学でも近頃多数の
日系子が卒業してゆく。師範位珍らしくもな
い。その場合、全く血と汗で闘ひとった貴重重宝ト
ロキである。師範の卒業生といへば普通二十
歳前後の乳くさい青年男女であるが、ハルエさ
んは三十近くになつて敢然として、この道にトビこん
で行つた。且つ順調な家庭に育ち師範に入學
してゆくのである。女子學の心配もないであらうが
ハルエさんの場合全く苦學といつてもよい程の
人知れぬ苦しみがあつた。

ハストス移住地の人々で大なり小なり故招本さん
の世話を受けない人はない位、招本さんは事ム
所勤務時代、よく人の面倒を見ながら晩年は
頗る恵まれお淋しく永眠した。遺産といふ程
のものもなく末七人もやがて追つかけるように長逝
していった。こういふ家庭的な不幸と戦ひつ
ハルエさんは長く幼稚園の教師(保姆)をしてきた
が長い一生の身についた職業といはば竹筒をつけて
おく必要を感じ、師範入學と志願した。ハルエ
さんの身上には運命のいたづらか、不幸がまつ
わりついて居たようである。故招本さんは子供供

棉花 アメントキ、粉、ニールヨ
農産物 買入れます

鶏舎・養蚕室・建築用の材料
手頃のユーカーフト 長々色々
上等木炭製造 卸小賣

モシテアレズレ
佐 藤 利 石 門
ハストス市アネマル街角
雜穀商 佐 藤 商 會

の将来や趣味などについては自由で全く干渉しなかった。周知の通り故郷本氏は結婚の世話などは百以上もした位だが自分の子供にはその目には無関心な程だった。廿四の時春江さんにも結婚の世話が訪れ、多くの友達や教へ子(もう幼稚園の保姆をいいたから)に祝福されて、結婚へゴールインしたが、どういふものか半歳もた、ないで解消してしまった。ここでは、そのいきさつを述べることをさけるが、結局不幸であったといふより外説明のしようは無い。

お父さんの高僧がさんがかくはなつてからハルエさんは師範へ入る決心をしたらしくお母さんのお望みもそ、うしてハルエさんの一本玉になることを望んでいたものらしかった。

一九五一年二月ハルエさんは新に自分の人生を開拓する為めにランシヤリア師範学校に入学した。もうハルエさんに見れば代用教員も勤めた事はあるし、幼稚園もやった事はあるし何でも出来るのだが「メンジョウ」がほしかったのである。正教員の資格をとる為めに正規の道とふみ出した道のこと。だから学科が六ヶ敷しくて困るような事はなかった。が咄一つポルトガルス文は、いよ、正式にやり出すと中々敷くその辺でペラ、ペラ、誰とでも話すようになつては、いかず、おい合、苦心した相である。

学資は官費といふもののペンション代は自辨だし毎月最デークト五百、二コトを捻出するのにも人知れぬ苦労をした。

最初の一年はランシヤリアで午前の授業を受け午後バスターに戻って幼稚園をやり、その日の内又ランシヤリアへ引返して羽音の準備をする。それを一筆つづけたが二年目から小学校の方向と合うので、やむを得ず有北レイ子ちゃんに幼稚園を代つて貰ひ、自らはランシヤリアで日本語教師のアルバイトをやつた。三年目は畑中代ちゃんに幼稚園をやつて貰ひ、自分は裁縫学校の名義が上る若干の金と、亡き母さんのこゝろをくれた偉少の金と、さむようにして使つていた、これを兄がねた弟の孝さんは幾度か月謝を割いて送つたといふ、深くま、い姉弟愛の逸話もあるのである。

ハルエさんの女子業に対するタクマシさは五三年七月の日本語教師の正式免許取得にも表はれている。打つ可きはちゃんとならう一歩々々卒業の日へ肉迫していった。また肉迫していったといふ感心である。

入学の頃、三年前にはハルエさんも物好きを今更何とくる人、で学校などへと云つた人も多かつた。そういふ声を七月にききながら、着物らしい着物も作り、一針の金も無駄に使はず、歯をくひしはつて卒業の式場へ立つ日まを、わざと自ら卒業した氣迫と忍耐と勇氣は、まさに懦夫とて、立たしむる概があつたといへる。

誰も、かれもが真似のできる話ではない。親から学資を出して貰つて勉学する遊子で、さへも容易なりぬ勉学の途と、ハルエさんは全く自分の力で衣食を支へ下り卒へたのであつた。

あ、はれ、でかしたとほめても決一と通りはよいであらう。ハルエさんは一度結婚には失敗したが、退去は過去として水に流し、適当な絆と愛の家庭を愛むことと功にのぞむものである。(了)

洗濯は決して

労働ではない

今迄婦人の仕事で一番力をすりへらしたものは洗濯で、それが為の随分無駄な時間と費しザツシ一冊よむひまがない状態であつた。ところが此度サウナ、加藤雄太郎さんの販賣といふ洗濯機を使ふと、実にカンタンに、七才の子供がけつこう洗濯ができる。

「ヤ」と僅か十五分か廿分、本地をいためず、絞りを干すばかりと折る便利さもありである。

- 既に、
- スロリアⅡ 吉浦秀次郎、吉田興三君、氏
 - スロリアⅢ 若野耕一氏
 - アルトでは 木内篤、小橋博知、小田作造氏
 - ホムヤン 佐藤金作
 - フルワラ 池田左近、西村英一氏
 - ウニオンⅡ 板垣達志氏
 - シヤカラ 小沢勇氏
 - カスカタ 山下正一、東一氏
 - サウナ 木口正足、梶田晴氏
- に実物がある故、一度見てなる程と得心がいたう一台早速申込んで家庭作用を合理的にする標す、めする。
- アリアン洗濯機 一才販賣人
加藤雄太郎
申込所 水ロソルベタリアへ